

主要国の出生力指標

女子人口の年齢別出生率 (age-specific fertility rate) と合計特殊出生率 (total fertility rate) は、基本的な出生力指標として重要である。南アジアとアフリカの諸国における予想外の高出生率が今後の世界人口増加の危機認識を深めているとともに、先進諸国の低出生率が高齢化の進行と人口減退の危惧をかもしている現状に鑑み、これら各国の出生率の基本的指標についてより正確な比較統計資料の提供をすることは、冷静な判断と適切な対応策を考究する上で有益である。

本統計は3つの統計資料からなり、最初の統計資料として最近刊行された国際連合「世界人口年鑑」(United Nations, *Demographic Yearbook*) の1987年版によって得られる主要国の最新の年齢別出生率およびその平均的な指標として再生産年齢(15-49歳)女子人口についての出生率(総出生率, general fertility rate)ならびに年齢別出生率の総合として合計特殊出生率を算定し、掲載した。

第2の統計資料として、近年出生率低下の著しい先進諸国について、欧州理事会による構成国の人口状況年次報告書の1988年版(Council of Europe, *Recent Demographic Developments in the Member States of Council of Europe, 1988*) から、1970年以降の時系列を含む最新の合計特殊出生率と純再生産率(net reproduction rate)のデータを掲載した。

さらに第3の統計資料として、アメリカ合衆国について、合衆国の全国保健統計センターの人口動態統計月報(National Center for Health Statistics, *Monthly Vital Statistics Report, Volume 38, Number 3, Supplement, June 1989*) から1970年以降1987年までの年齢別出生率と合計特殊出生率を掲載した。

なお、表示した国の配列は、それぞれの原典の配列をそのまま採用した。世界人口年鑑については国連方式、すなわち、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニアの地域順で、地域内の国・領土はABC順である。また欧州理事会の資料については構成国名のABC順である。データに関するその他の詳細はそれぞれ原典を参照されたい。本統計資料の作成は、人口情報部の渡邊吉利技官および坂東里江子技官が担当した。

統計利用上の注意

世界人口年鑑によるデータに関しては、以下の諸点に注意されたい。

世界人口年鑑1987年版の原表(表11)には、最近の利用可能な年次についての各国・地域(領土)別女子人口の年齢別出生率と、データの得られる国についてはその都市・農村別の女子年齢別出生率が示されている。出生数の都市・農村区分は、それぞれの国の地域の区分による。

一般に15歳未満および50歳以上の女子からの出生児数は少ないため、20歳未満および45歳以上の母についての出生率は、それぞれ15-19歳、45-49歳の女子人口を分母として計算されている。同様に、母親の年齢を問わないすべての出生数に対する出生率は、15-49歳の女子人口を分母として算定されており、この全年齢に対する率が総出生率である。

年齢不詳の母による出生数は、率を算定する前に(国連統計局)によって年齢の判明している母の出生に従って比例配分してある。しかし、案分以前に出生数の10%以上が年齢不詳である場合の率は、脚注において明らかにしている。

率の算出に用いられる人口は、センサスまたは実査に基づいたもの、あるいは推計による年齢別人口である。今母人口への使用が薦められるデータの第1は出生数のデータと同年時の年央推計であり、第2は同年のセンサス結果であり、第3はその年の年央以外の時点についての推計である。

この表に示された率は、ある年における出生児数が少なくとも100件以上の国や地域に限定されている。年齢階級別の出生数が30以下のデータに基づく率は「◆」の符号が付されている。原典では、出生登録が発生件数の90%未満の不完全データと登録の完全性不明なデータはイタリック(斜字体)で示されているが、本統計では信頼性の面から掲載を省略した。この表に示されている率はいろいろの制約をもつが、とくに留意すべきは、その

登録システムが実際に発生した出生数のどれだけ把握しているかを示す登録率、出生登録以前の死亡あるいは出生後24時間以内死亡した乳児の処理、および母の年齢の定義の方法と登録の記入方法の3点である。さらにデータによっては、出生率は出生の発生時ではなく登録時によって集計されたデータを基にしている。このような率である場合は符号「+」で示してある。母の年齢別出生数の集計に対する登録の遅れの影響は、比較的高年齢の出生率に現れることがある。45歳以上の高年齢出生率は、必ずしもこの年齢の出生率の高さを示すものではなく、単に登録時の母の年齢を示すものであることがある。

なお、年齢不詳の案分方法は次の事実からの批判があることに注意されたい。すなわち、嫡出出生児の母の年齢構成が非嫡出出生児のそれと異なること、母の年齢不詳は嫡出出生児より非嫡出出生児のほうに多いことである。

都市・農村別のデータの比較可能性は、これらのデータの集計に用いられたそれぞれの国による都市と農村の定義によって影響される。とくに反対に解すべき理由がない限り、国の人口センサスで用いられた都市・農村の定義がそれぞれの国または地域の動態統計の編集においても同様に用いられたと推定される。しかし、いくつかの国または地域については、動態統計データと人口センサスとで都市・農村の定義が異なっている可能性がある。そこで、比較可能性のもう1つの問題が生じる。すなわち、動態率を計算する際、人口動態と人口センサスで異なった定義が用いられ、率の分子（出生数）と分母（人口）の間に厳密な対応がない場合である。また、都市・農村の動態率の差は、動態事象を発生地で集計するか、常住地で集計するかによっても影響を受ける。

欧州理事会のデータには、純再生産率に関するものが含まれている。純再生産率は、名称が示すように再生産・置き換えの考えをとり入れた出生力指標である。通常、出生率の計算は女性を母集団として母親の年齢別に行うが、この年齢別の出生率を計算する場合の出生数を母集団に対応させて女兒だけに限定して計算し、さらに生まれてからその年齢に達するまでの死亡を考慮して生命表の生残数 (Lx) を適用し、最後にそれらの年齢別の数値を再生産期間 (15—49歳) について合計したものである。こうして得られた純再生産率は、計算に用いられた女兒出生率および生命表水準における母親世代から娘世代への置き換わりのレベルを表すものとなる。仮に純再生産率が2だとすると、その出生・死亡秩序が持続する下では母親世代に対して娘世代は2倍の人口となることを意味する。同様に、純再生産率が1であれば母親世代と娘世代の人口規模は等しくなることになる。近年置き換えレベルを下回りつつあるといわれる欧州諸国の純再生産率データは格好の参考資料となろう。

欧州理事会のデータは、登録率や精度について比較的問題がないと思われるが、国あるいは年次によって推定値 (E) や暫定値 (P) である場合があるので注意されたい。

アメリカ合衆国のデータについてみると、1984年以前は基本的にサンプル抽出データによるものである。また合衆国においては15歳未満の低年齢の出生率も表章されており、合計特殊出生率は15歳未満の率をも含めて計算されている。

(渡邊吉利・坂東里江子)

表1-a 主要国女子人口の年齢別出生率および合計特殊出生率：最新資料

国・地域 (年)	女子の年齢別出生率 (%)								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上 ³⁾	
〔アフリカ〕									
ケープベルデ (1985)	142.3	77.9	210.4	194.8	203.0	152.1	77.6	15.6	4.66
エジプト (1982) ⁴⁾	152.3	31.0	173.9	308.6	258.7	177.8	69.3	35.9	5.28
マラウイ (1977) ^{4) 5)}	206.7	135.6	280.3	275.5	241.3	195.8	126.0	118.1	6.86
モーリシャス (1986)	66.9	39.6	115.9	115.5	69.9	35.3	10.4	◆ 1.4	1.94
ロドリゲス (1986)	120.7	80.1	198.5	194.0	153.6	86.7	◆ 38.9	◆ 14.5	3.83
セイシェル (1986) ⁺	111.4	79.4	154.3	176.3	129.2	81.6	28.2	◆ 1.7	3.25
チュニジア (1980)	151.9	36.7	207.8	294.2	249.1	170.6	76.9	37.7	5.37
ジンバブエ(ヨーロッパ人) (1978) ⁺	47.8	23.7	95.5	121.5	55.0	17.0	◆ 3.9	...	1.58
〔北アメリカ〕									
バハマ (1985)	84.9	67.7	136.3	143.4	98.0	38.3	11.8	◆ 0.8	2.48
バルバドス (1980) ⁺	66.8	70.7	110.4	95.5	62.6	24.0	8.2	◆ 3.6	1.88
バミューダ (1985)	58.5	33.7	102.6	124.2	75.9	31.4	◆ 3.1	◆ 0.6	1.86
英領バージン諸島 (1980) ^{+ 6)}	85.5	65.6	124.5	142.9	81.8	◆ 56.7	◆ 7.3		2.43
カナダ (1985) ⁷⁾	53.9	23.2	83.3	122.7	73.0	21.3	3.0	0.1	1.63
コスタリカ (1984)	121.8	96.0	192.1	181.7	131.0	76.8	27.0	3.1	3.54
キューバ (1986)	58.4	81.3	107.6	82.4	45.5	17.7	3.2	1.6	1.70
グリーンランド (1986)	73.5	80.3	114.5	102.9	75.6	37.3	◆ 9.7	◆ 0.9	2.11
グアデループ (1985) ^{8) 9)}	78.0	37.0	122.0	170.0	111.4	55.5	19.1	◆ 2.0	2.59
グアテマラ (1985) ⁴⁾	188.1	125.5	273.5	271.0	225.6	183.0	81.5	43.0	6.02
ジャマイカ (1982) ⁺	114.4	120.1	177.4	149.7	111.2	66.7	24.5	3.4	3.27
モントセラト (1982) ⁺	96.9	155.2	126.0	118.8	◆ 75.4		◆ 12.3		2.56
パナマ (1986) ⁴⁾	104.6	93.5	175.8	161.7	101.0	57.9	18.3	5.5	3.07
プエルトリコ (1985) ⁴⁾	75.0	66.2	147.9	149.9	81.8	30.9	7.3	0.5	2.42
セントキッツ=ネビス (1983)	103.9	103.9	164.4	147.6	69.2	43.9	◆ 21.9	◆ 1.4	2.76
セントルシア (1986)	129.5	113.6	206.0	201.8	125.9	88.7	29.3	0.9	3.83
セントビンセント=グレナディーン (1980)	140.8	144.9	219.5	188.1	134.1	65.4	28.1	◆ 5.4	3.93
トリニダード=トバゴ (1983)	112.6	89.8	184.8	178.0	115.3	68.6	16.4	1.6	3.27
アメリカ合衆国 (1985)	60.0	52.4	108.9	110.6	68.5	23.9	4.0	0.2	1.84
合衆国バージン諸島 (1980)	96.9	90.1	213.6	146.9	96.4	58.3	19.9	◆ 0.4	3.13
〔南アメリカ〕									
アルゼンチン (1980)	103.3	81.8	173.8	179.1	132.0	74.4	24.5	4.5	3.35
チリ (1986) ¹⁰⁾	79.2	59.2	134.3	131.7	89.9	48.0	13.8	1.4	2.39
ウルグアイ (1980) ⁺	78.6	65.8	142.0	141.3	103.5	57.2	19.6	1.8	2.66
ベネズエラ (1986) ¹¹⁾	115.0	100.1	180.7	171.4	128.1	72.8	27.1	5.9	3.43
〔アジア〕									
アフガニスタン (1979) ^{4) 12)}	232.5	159.9	332.8	350.6	262.7	230.4	104.0	80.1	7.60
ブルネイダルサラーム (1986) ⁺	117.3	36.0	149.9	202.0	162.6	101.7	39.2	◆ 6.5	3.49
ホンコン (1985) ¹³⁾	53.2	8.5	57.4	117.5	78.6	27.1	4.7	0.4	1.47
イスラエル ¹⁴⁾ (1986) ⁴⁾	97.5	21.8	156.8	201.6	145.6	73.1	17.2	1.6	3.09
日本 (1988)	42.4	3.6	51.4	159.3	92.8	18.7	2.3	0.1	1.66
ヨルダン ¹⁵⁾ (1979) ⁺	109.9	79.3	245.3	254.2	326.1	340.6	272.5	149.2	8.34
クウェート (1985)	141.8	50.0	194.7	230.4	183.4	139.6	50.9	14.2	4.32
マレーシア (1984) ⁴⁾	119.9	26.4	161.4	233.6	184.2	112.3	39.3	4.7	3.81
パキスタン (1976) ^{4) 17)}	206.0	56.3	271.2	348.2	305.3	225.7	127.6	72.5	7.03
シンガポール (1987) ^{* 18)}	56.7	8.3	60.4	125.8	94.4	34.3	6.0	◆ 0.2	1.65
スリランカ (1983) ^{+ 4)}	102.9	37.4	166.7	180.1	139.8	80.9	23.5	3.5	3.16
〔ヨーロッパ〕									
オーストリア (1985) ⁴⁾	45.7	24.8	100.0	97.8	51.5	18.3	3.6	0.3	1.48
ベルギー (1983)	49.2	15.9	101.8	124.6	53.8	15.3	2.9	0.2	1.57
ブルガリア (1985) ⁴⁾	56.2	78.4	179.5	92.6	33.2	9.5	1.9	◆ 0.1	1.98
チャネル諸島									
ガーンジー (1986)	48.4	20.0	65.9	124.7	87.4	24.6	5.5	...	1.64
ジャージー (1986) ⁺	42.9	13.0	43.7	91.0	82.2	31.4	◆ 3.8		1.34
デュクスロバキア (1985)	60.7	52.8	192.8	109.2	42.2	13.0	2.0	0.1	2.06
デンマーク ¹⁹⁾ (1986)	43.1	9.7	74.1	120.0	68.4	19.6	3.4	◆ 0.1	1.48
フェロー諸島 (1986)	73.3	34.8	135.4	159.3	97.6	42.4	◆ 6.4	◆ 1.0	2.38
フィンランド (1986) ^{4) 20)}	48.3	12.9	71.0	119.8	77.8	31.1	6.9	0.4	1.60
フランス (1986) ^{4) 21)}	57.6	10.9	92.9	145.5	83.4	29.8	7.0	0.5	1.85

表1— a 主要国女子人口の年齢別出生率および合計特殊出生率：最新資料（つづき）

国・地域 (年)	女子の年齢別出生率 (%)								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
東 ド イ ツ ²²⁾ (1985) ⁴⁾	54.4	43.8	160.8	100.1	34.7	10.4	1.3	0.1	1.76
西 ド イ ツ ²²⁾ (1986)	40.1	8.6	57.7	108.2	70.0	23.8	3.6	0.2	1.36
ギ リ シ ャ (1984) ⁴⁾	53.1	41.2	131.6	108.9	56.7	21.3	4.6	0.5	1.82
ハ ン ガ リ ー (1986) ⁴⁾	50.2	49.3	148.3	107.1	43.9	14.5	2.6	0.1	1.83
ア イ ス ラ ン ド (1984)	69.3	38.1	123.6	124.7	86.5	38.9	7.2		2.10
ア イ ル ラ ン ド (1985) ^{+ 23)}	75.0	16.8	87.1	160.3	136.2	74.5	21.5	1.6	2.49
イ タ リ ア (1982)	44.9	16.9	91.1	108.9	63.6	26.3	5.4	0.4	1.56
ル ク セ ン ブ ル ク (1985)	43.8	10.7	72.9	106.0	67.1	19.7	2.7	◆ 0.3	1.40
マ ル タ (1986) ²⁴⁾	59.4	12.7	85.3	142.4	93.5	42.5	10.0	0.6	1.94
オ ラ ン ダ (1986) ^{4) 25)}	47.9	6.8	58.0	134.0	86.6	21.2	3.4	0.5	1.55
ノ ル ウ ェ ー (1985) ^{4) 9)}	51.4	13.1	86.8	126.6	78.3	25.7	5.2	◆ 0.3	1.68
ポ ー ラ ン ド (1986) ⁴⁾	69.2	32.8	174.9	134.1	66.1	28.3	6.8	0.4	2.22
ポ ル ト ガ ル (1986)	50.4	30.1	100.0	100.8	59.8	25.8	8.2	1.0	1.63
ル ー マ ニ ア (1985)	65.2	57.8	191.4	121.1	55.2	21.4	5.1	0.4	2.26
サ ン マ リ ノ (1986) ⁺	30.2	◆ 10.4	54.7	68.3	48.4	◆ 11.9	…	…	0.97
ス ペ イ ン (1981)	59.8	22.8	106.1	138.5	85.1	42.5	13.0	1.1	2.05
ス ウ ェ ー デ ン (1986)	51.2	11.4	82.5	137.1	90.0	32.4	5.5	0.2	1.80
ス イ ス (1986) ⁴⁾	45.5	6.5	64.0	127.8	81.1	23.1	3.4	◆ 0.1	1.53
イ ギ リ ス (1986)	54.2	30.2	93.4	124.7	78.3	24.8	4.6	0.4	1.78
イ ン グ ラ ン ド = ウ ェ ー ル ズ (1985)	54.0	29.5	94.5	127.6	76.4	24.1	4.6	0.4	1.79
北 ア イ ル ラ ン ド (1985) ⁺	74.2	28.7	121.8	162.8	114.0	51.8	10.9	◆ 0.5	2.45
ス コ ッ ト ラ ン ド (1985) ⁺	52.6	30.9	95.2	123.3	68.0	20.7	3.4	◆ 0.2	1.71
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア (1985)	63.3	44.0	154.6	123.1	58.3	23.2	5.7	0.7	2.05
〔オセアニア〕									
オ ー ス ト ラ リ ア (1983) ⁺	62.2	26.5	102.7	146.1	81.5	25.0	4.3	0.2	1.93
ク ッ ク 諸 島 (1981) ⁺	120.9	91.6	225.8	200.9	151.9	72.4	40.2	◆ 9.4	3.96
フ ィ ジ ー (1985) ⁺	106.5	58.8	223.7	175.8	98.9	51.4	17.1	3.6	3.15
グ ァ ム (1980) ²⁶⁾	110.9	74.6	194.1	174.5	116.8	53.5	25.0	◆ 2.5	3.21
ニ ュ ー カ レ ド ニ ア (1983)	107.7	64.6	212.6	183.6	122.7	70.7	25.3	◆ 4.2	3.42
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド (1985) ^{+ 4)}	61.4	30.6	104.1	145.1	79.1	22.4	3.8	◆ 0.3	1.93

表1-b 主要国女子人口の年齢別出生率および合計特殊出生率：最新資料

都市・農村居住別

国・地域 (年)	女子の年齢別出生率 (%)								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上 ³⁾	
〔アフリカ〕									
エジプト (1982)									
都市部	129.6	26.7	139.0	278.9	230.1	142.5	47.0	21.2	4.43
農村部	172.9	35.3	212.2	336.6	283.2	204.8	86.3	46.5	6.02
マラウイ (1977) ⁶⁾									
都市部	208.2	119.1	272.1	273.0	241.4	194.3	113.5	101.0	6.57
農村部	206.5	137.1	281.1	275.7	241.2	195.9	126.7	118.9	6.88
〔北アメリカ〕									
キューバ (1986)									
都市部	54.2	80.4	100.7	77.2	41.6	15.9	2.8	1.4	1.60
農村部	70.0	83.1	126.0	96.2	57.4	23.5	4.3	2.3	1.96
グアテマラ (1981)									
都市部	220.2	156.1	337.2	331.2	260.6	168.2	76.8	19.2	6.75
農村部	221.0	161.9	310.4	313.5	289.1	204.0	100.4	29.2	7.04
パナマ (1986)									
都市部	85.0	65.4	139.1	149.3	87.9	38.4	8.9	◆ 1.1	2.45
農村部	131.7	129.8	234.6	178.0	119.8	85.0	30.8	◆ 10.9	3.94
プエルトリコ (1980)									
都市部	65.0	49.9	126.7	125.4	69.6	27.7	6.5	◆ 0.5	2.03
農村部	139.1	130.2	278.1	215.9	121.9	60.9	20.2	◆ 3.8	4.16
〔アジア〕									
アフガニスタン (1979) ¹²⁾									
都市部	189.6	120.3	262.9	285.5	249.3	183.8	74.6	47.5	6.12
農村部	240.3	168.6	346.9	362.6	264.9	238.5	108.2	85.6	7.88
イスラエル (1985) ¹⁴⁾									
都市部	97.3	26.1	163.4	194.8	138.9	67.4	15.4	1.1	3.04
農村部	118.8	20.8	161.3	254.5	187.5	106.2	29.4	4.0	3.82
日本 (1985) ¹⁵⁾									
都市部	45.3	4.0	56.7	171.0	85.6	18.1	1.9	0.1	1.69
農村部	50.5	4.2	82.2	195.7	82.3	15.1	1.5	0.1	1.91
マレーシア〔半島部〕 (1980)									
都市部	95.9	21.1	126.9	198.1	145.1	71.0	22.6	3.2	2.94
農村部	147.0	46.3	229.8	280.9	213.6	132.0	53.5	6.9	4.82
パキスタン (1976) ¹⁷⁾									
都市部	192.6	42.7	257.0	382.8	294.4	214.7	88.0	45.3	6.62
農村部	211.3	62.6	277.3	335.4	309.2	229.8	141.7	82.7	7.19
スリランカ (1981) ⁺									
都市部	236.6	76.5	338.4	424.6	352.9	205.6	63.4	8.8	7.35
農村部	76.9	28.0	127.9	137.2	97.4	60.4	17.3	2.7	2.35
〔ヨーロッパ〕									
オーストリア (1981)									
都市部	43.8	29.8	102.6	92.8	45.6	15.6	3.7	◆ 0.2	1.45
農村部	60.6	38.7	139.0	120.2	62.0	25.4	7.2	◆ 0.6	1.97
ブルガリア (1985)									
都市部	52.9	67.3	153.8	87.8	34.4	9.8	1.8	◆ 0.1	1.78
農村部	64.9	106.1	268.3	108.8	29.9	8.4	2.0	◆ 0.1	2.62
フィンランド (1986)									
都市部	46.3	13.2	65.8	112.9	75.2	28.9	6.0	◆ 0.2	1.51
農村部	51.8	12.3	81.2	134.2	82.8	35.4	8.7	◆ 0.7	1.78
フランス (1982) ¹⁹⁾²¹⁾²⁸⁾									
都市部	61.9	16.7	112.6	142.9	78.5	29.1	6.1	0.5	1.93
農村部	55.3	12.3	117.0	147.1	70.6	24.1	4.5	0.3	1.88
東ドイツ (1981) ²²⁾									
都市部	54.6	48.3	170.9	100.5	33.5	8.6	1.5	0.1	1.82
農村部	64.8	61.8	185.5	105.1	37.2	10.6	2.2	◆ 0.2	2.01

表1—b 主要国女子人口の年齢別出生率および合計特殊出生率：最新資料（つづき）
都市・農村居住別

国・地域 (年)	女子の年齢別出生率 (%)								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
ギリシャ (1981)									
都市部	61.8	43.3	133.5	126.4	68.7	29.8	6.1	0.9	2.04
農村部	82.9	81.7	240.3	175.3	81.6	33.5	8.0	1.1	3.11
ハンガリー (1986)									
都市部	45.2	35.3	123.2	104.0	44.1	14.6	2.5	0.1	1.62
農村部	57.8	72.2	189.6	110.9	43.0	14.4	2.7	0.1	2.16
オランダ (1986) ²⁵⁾									
都市部	46.1	10.3	57.3	113.5	78.8	21.6	3.7	0.7	1.43
農村部	55.2	3.2	66.3	174.6	101.9	22.8	4.0	0.2	1.87
準都市部	48.4	3.6	56.7	153.8	92.8	20.3	2.9	0.2	1.65
ノルウェー (1980) ⁹⁾									
都市部	54.2	23.2	99.1	118.1	60.9	20.8	3.6	0.1	1.63
農村部	55.9	26.7	116.8	126.3	64.2	22.7	4.5	0.2	1.81
ポーランド (1986)									
都市部	57.6	27.7	144.6	115.9	57.5	23.2	4.9	0.3	1.87
農村部	91.0	40.1	221.3	167.9	85.2	39.9	10.7	0.7	2.83
スイス (1980)									
都市部	39.8	8.5	61.5	107.6	65.2	18.9	3.0	0.2	1.32
農村部	55.0	11.6	105.1	150.8	78.3	23.7	4.9	0.5	1.87
〔オセアニア〕									
ニュージーランド (1981) ⁺									
都市部	50.8	28.9	89.4	117.1	58.7	16.8	3.8	0.1	1.57
農村部	145.8	99.9	343.3	303.4	125.1	38.3	8.0	0.9	4.59

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1987, New York, 1989, 第11表による。ただし、合計特殊出生率はこれらの数値に基づいて人口問題研究所が算定したものである。

女子の年齢別出生率は、母の年齢別出生数の各年齢別女子人口1,000についての率である。◆30あるいはそれ未満の出生数に基づく率。+発生年次ではなく、登録年次によるデータ。1)率は15—49歳女子人口により算定されたいわゆる「総出生率」である。2)率は15—19歳女子人口により計算されている。3)率は45—49歳女子人口により計算されている。4)都市・農村別の率は本表の後に掲載。5)1977年の人口センサス結果に基づく。6)産院の出生記録に基づく。7)ニューファンドランドを除く。ただし、率は総人口で計算。8)出生登録前に死亡した出生数を除く。9)母の年齢区分は、出生時の年齢というより母の生まれ年から逆算したもの。10)調査漏れの補正を除く。11)ジャングルのインディオ人口、1961年時の推定31,800人を除く。12)1979年の人口センサス結果に基づく。13)ベトナム難民を除く。14)東エルサレムおよび1967年6月以降イスラエル軍占領下にある地域に住むイスラエル人のデータを含む。15)日本にいる日本人についてのデータのみ。ただし率は、領域内に駐留する外国軍人・軍属とその家族を除く外国人を含む人口を分母にして算定。16)1967年以降イスラエル軍占領下にあるヨルダン領のデータを除く。外国人は除くが、登録されたパレスチナ難民を含む。17)人口成長調査の結果に基づく。18)船舶上の一時滞在者および基地施設内に居住する軍人・軍属とそれらの家族を除く。19)別掲のフェロー諸島およびグリーンランドを除く。20)一時的に国外にいる国民を含む。21)国外の軍隊を含む。22)ドイツ連邦共和国(西ドイツ)およびドイツ民主共和国(東ドイツ)に関するデータには、別個にデータが提供されていないベルリンについてのデータが含まれている。その場合に生じてくるベルリンの地位のいかなる問題についても、なんらの偏見なしに処理したものである。23)発生年次内に登録された出生数に基づく。24)率はマルタ人口のみに基づき算定。25)オランダ人口登録簿に記載されている場合は、国外居住者を含む。26)合衆国軍人とその家族および契約被用者を含む。27)合衆国軍人とその家族および契約被用者を除く。28)国外の国民の出生を除く。

出典：United Nations, *Demographic Yearbook* 1987, New York, 1989

表2-a 欧州理事会構成国の

国名	1970	1975	1977	1978	1979
オーストリア	2.291	1.826	1.630	1.603	1.598
ベルギー	2.253	1.736	1.705	1.691	1.689
キプロス	2.539	2.013	2.250	2.296	2.383
デンマーク	1.950	1.919	1.660	1.668	1.602
フランス	2.472	1.927	1.861	1.821	1.855
西ドイツ	2.016	1.451	1.405	1.381	1.379
ギリシャ	2.337	2.365	2.266	2.274	2.261
アイスランド	2.809	2.649	2.312	2.348	2.489
アイルランド	3.867	3.396	3.269	3.240	3.229
イタリア	2.455	2.185	1.949	1.845	1.738
リヒテンシュタイン	2.609	1.670	1.619	1.524	1.780
ルクセンブルク	1.970	1.530	1.450	1.490	1.480
マルタ	2.300	2.000	2.300
オランダ	2.572	1.664	1.579	1.583	1.563
ノルウェー	2.504	1.983	1.753	1.769	1.750
ポルトガル	2.759	2.517	2.448	2.231	2.112
スペイン	2.820	2.800	2.660	2.530	2.350
スウェーデン	1.937	1.779	1.648	1.600	1.657
スイス	2.030	1.610	1.530	1.510	1.520
トルコ	*5.000			4.330	
イギリス	2.450	1.810	1.690	1.760	1.860

注：*1971年。(E)推計値。(P)暫定値。

出典：Council of Europe, *Recent Demographic Development in the Member State of Council of Europe, 1988*, Strasbourg 1989.

表2-b 欧州理事会構成国の

国名	1970	1975	1977	1978	1979
オーストリア	1.070	0.861	0.772	0.762	0.757
ベルギー	1.060	0.818	0.809	0.801	0.806
キプロス	1.176	0.943	1.026	1.087	1.109
デンマーク	0.927	0.921	0.794	0.797	0.766
フランス	1.172	0.918	0.887	0.869	0.886
西ドイツ	0.948	0.680	0.659	0.648	0.650
ギリシャ	1.072	1.098	1.041	1.045	1.039
アイスランド	1.321	1.264	1.117	1.134	1.196
アイルランド	1.812	1.600	1.534	1.541	1.577
イタリア	1.108	1.004	0.909	0.857	0.848
リヒテンシュタイン
ルクセンブルク	0.933	0.725	0.687	0.706	0.701
マルタ	1.080	1.060	1.050	1.030	1.050
オランダ	1.226	0.797	0.755	0.758	0.750
ノルウェー	1.189	0.949	0.835	0.842	0.837
ポルトガル	1.230	1.190	1.140	1.050	1.020
スペイン	1.350	1.310
スウェーデン	0.924	0.851	0.785	0.767	0.794
スイス	0.970	0.770	0.730	0.720	0.720
トルコ	*2.000			1.870	
イギリス	1.150	0.860	0.800	0.830	0.890

注：*1971年。(E)推計値。(P)暫定値

出典：Council of Europe, *Recent Demographic Development in the Member States of Council of Europe, 1988*, Strasbourg 1989.

合計特殊出生率：1970～87年

1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987
1.651	1.673	1.658	1.559	1.522	1.473	1.448	1.428
1.689	1.674	1.613	1.562	1.573	1.504(E)	1.541(E)	1.545(E)
2.455	2.365	2.498	2.482	2.481	2.382	2.399	...
1.546	1.437	2.427	1.377	1.400	1.447	1.480	1.496
1.945	1.945	1.913	1.787	1.807	1.823	1.842	1.822(E)
1.445	1.435	1.407	1.331	1.291	1.281	1.345	...
2.226	2.091	2.024	1.940	1.823	1.675	1.615	...
2.478	2.332	2.263	2.243	2.081	1.933	1.846	2.050(E)
3.229	3.070	2.957	2.759	2.589	2.494	2.437	2.345
1.664	1.597	1.592	1.520	1.457(P)	1.410(P)	1.330(E)	1.280(E)
2.023	1.676	1.974	1.623	1.928
1.510	1.530	1.490	1.450	1.420	1.380	1.440	1.410
2.200	2.100	2.300	2.200	2.200	2.000	2.000	...
1.602	1.563	1.495	1.466	1.491	1.511	1.553	...
1.722	1.701	1.708	1.655	1.658	1.677	1.710	...
2.190	2.144	2.073	1.946	1.886	1.699	1.628	...
2.220	2.030	1.930	1.790(P)	1.690	1.610	1.520	...
1.678	1.632	1.617	1.609	1.652	1.733	1.789	1.838
1.550	1.540	1.560	1.520	1.530	1.510	1.530	1.510
		3.970				3.610	
1.890	1.810	1.780	1.770	1.770	1.800	1.780	1.810

純再生産率：1970～87年

1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987
0.781	0.799	0.799	0.746	0.731	0.702	0.692	0.683
0.810	0.799	0.770	0.746	0.732	0.718(E)	0.736(E)	0.737(E)
1.124	1.090	1.158	1.160	1.167	1.109	1.133	...
0.742	0.691	0.683	0.662	0.672	0.697	0.708	0.713(E)
0.929	0.929	0.914	0.856	0.867	0.873	0.883	0.873(E)
0.679	0.675	0.660	0.625	0.605	0.604	0.632	...
1.022	0.961	0.908	0.909	0.859	0.784	0.760	...
1.191	1.100	1.071	1.094	0.998	0.968	0.938	0.970(E)
1.524	1.457	1.414	1.310	1.222	1.190	1.153	1.103
0.804	0.766	0.759	0.724
...
0.716	0.725	0.706	0.687	0.672	0.653	0.684	0.667
1.070	1.080	1.040	1.030	1.030	0.980	0.970	...
0.768	0.753	0.717	0.706	0.716	0.136	0.760	...
0.820	0.821	0.814	0.789	0.796	0.801	0.816	...
1.030	1.010	0.980	0.920	0.900	0.810	0.770	...
...
0.805	0.786	0.744	0.769	0.792	0.828	0.855	...
0.740	0.730	0.740	0.720	0.730	0.720	0.730	0.720
		1.710				1.600	
0.910	0.870	0.850	0.850	0.840	0.860	0.850	0.860(E)

表3 アメリカ合衆国女子の合計特殊出生率および年齢別出生率：1970～1987年

年次	合計特殊出生率	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
1970 ²⁾	2.4800	0.0012	0.0683	0.1678	0.1451	0.0733	0.3170	0.0081	0.0005
1971 ²⁾	2.2665	0.0011	0.0645	0.1501	0.1341	0.0673	0.0287	0.0071	0.0004
1972 ¹⁾	2.0100	0.0012	0.0617	0.1302	0.1177	0.0598	0.0248	0.0062	0.0004
1973 ¹⁾	1.8790	0.0012	0.0593	0.1197	0.1122	0.0556	0.0221	0.0054	0.0003
1974 ¹⁾	1.8350	0.0012	0.0575	0.1177	0.1115	0.0538	0.0202	0.0048	0.0003
1975 ¹⁾	1.7740	0.0013	0.0556	0.1130	0.1082	0.0523	0.0195	0.0046	0.0003
1976 ¹⁾	1.7380	0.0012	0.0528	0.1103	0.1062	0.0536	0.0190	0.0043	0.0002
1977 ¹⁾	1.7895	0.0012	0.0528	0.1129	0.1110	0.0564	0.0192	0.0042	0.0002
1978 ¹⁾	1.7600	0.0012	0.0515	0.1099	0.1085	0.0578	0.0190	0.0039	0.0002
1979 ¹⁾	1.8080	0.0012	0.0523	0.1128	0.1114	0.0603	0.0195	0.0039	0.0002
1980 ¹⁾	1.8395	0.0011	0.0530	0.1151	0.1129	0.0619	0.0198	0.0039	0.0002
1981 ¹⁾	1.8150	0.0011	0.0527	0.1118	0.1120	0.0614	0.0200	0.0038	0.0002
1982 ¹⁾	1.8285	0.0011	0.0529	0.1113	0.1110	0.0642	0.0211	0.0039	0.0002
1983 ¹⁾	1.8025	0.0011	0.0517	0.1083	0.1087	0.0646	0.0221	0.0038	0.0002
1984 ¹⁾	1.8055	0.0012	0.0509	0.1073	0.1083	0.0665	0.0228	0.0039	0.0002
1985	1.8425	0.0012	0.0513	0.1089	0.1105	0.0685	0.0239	0.0040	0.0002
1986	1.8360	0.0013	0.0506	0.1082	0.1092	0.0693	0.0243	0.0041	0.0002
1987	1.8710	0.0013	0.0511	0.1089	0.1108	0.0713	0.0262	0.0044	0.0002

注：1) 一部の州については出生登録データの100%、他の州については50%抽出に基づく。

2) 出生登録データの50%抽出に基づく。

出典：National Center for Health Statistics, *Monthly Vital Statistics Report*,
Volume 38, Number 3, Supplement, June 1989.